

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月4日

上場会社名 デジタルアーツ株式会社
(URL http://www.daj.jp/)

コード番号：2326 大証（ヘラクレス市場）

代表者 代表取締役社長 道具 登志夫

問合せ先責任者 管理本部 取締役 宮脇 真樹

(TEL：(03) 3580-3080)

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

- (1) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (2) 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 (3) 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成19年3月期第1四半期の業績概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 第1四半期(当期)純利益 | |
|-------------|-------|---------|------|-----|------|-----|--------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 19年3月期第1四半期 | 189 | (△25.9) | △59 | (-) | △59 | (-) | △60 | (-) |
| 18年3月期第1四半期 | 255 | (-) | 41 | (-) | 39 | (-) | 11 | (-) |
| (参考) 18年3月期 | 1,389 | (-) | 429 | (-) | 418 | (-) | 207 | (-) |

| | 1株当たり第1四半期(当期)純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益 | |
|-------------|-------------------|----|--------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 19年3月期第1四半期 | △444 | 8 | - | - |
| 18年3月期第1四半期 | 263 | 81 | 249 | 78 |
| (参考) 18年3月期 | 1,543 | 86 | 1,472 | 25 |

(2) 事業区分別の売上高（連結）内訳

| | セキュリティ事業 | | その他の事業 | | 合計 | |
|-------------|----------|---------|--------|----------|-------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 19年3月期第1四半期 | 189 | (△25.8) | - | (△100.0) | 189 | (△25.8) |
| 18年3月期第1四半期 | 252 | (-) | 2 | (-) | 255 | (-) |
| (参考) 18年3月期 | 1,379 | (-) | 10 | (-) | 1,389 | (-) |

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 売上高におけるパーセント表示は対前年同四半期比増減率を示し、営業利益等につきましては損失計上のため記載しておりません。
 3. 前第1四半期及び前期の売上高、営業利益、経常利益、第1四半期(当期)における対前期増減率は、平成17年3月期末が連結子会社の支配獲得日となり財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため記載しておりません。
 4. 当第1四半期に係る潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益については、第1四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

1) 全体概況

当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）は、企業におけるセキュリティ対策意識や学校へのフィルタリングソフトの導入機会は依然高いものの、年間を通じて売上の構成比率が低いという季節的要因により、売上高は189,073千円（前年同期比 74.1%）となりました。

また一方で、売上原価70,198千円（前年同期比 112.7%）、販売費及び一般管理費178,250千円（前年同期比 117.4%）と営業費用では従前以上の経費削減への取組みの結果ほぼ計画通りの推移となり、当第1四半期の営業利益は△59,375千円（前年同期比 △144.7%）、経常利益では△59,528千円（前年同期比 △152.6%）という結果となりました。

2) 事業区分別概況

① セキュリティ事業

家庭向け製品の販売が好調に推移し計画を上回ったものの、企業向け製品並びに公共向け製品については案件の大型化傾向が顕著に現れ、第2四半期（平成18年7月1日～平成18年9月30日）以降へ売上が期ずれしたことによって、当事業全体の売上は189,073千円（前年同期比 74.1%）という結果となりました。

当事業における製品別の売上状況は下記の通りです。

| | 企業向け製品 | 公共向け製品 | 家庭向け製品 | 合計 |
|-------------|--------|--------|--------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 19年3月期第1四半期 | 98 | 49 | 40 | 189 |
| 18年3月期第1四半期 | 142 | 84 | 25 | 252 |
| (参考) 18年3月期 | 779 | 451 | 148 | 1,379 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

a) 企業向け製品

当第1四半期における企業向け製品の販売状況は、継続して情報漏洩対策ソリューションとしての注目度も高く、特に中規模企業を中心に販売が増加しております。しかしながらユーザーの獲得件数は前年同期に比べ増加傾向にあるものの、“内部統制”や日本版“SOX”法に対する関係当局のガイドライン整備等の遅れが、企業のネットワークセキュリティへの対応を鈍化させている側面もあり、売上高の増加には至らない結果となりました。

あわせて年度のはじめの時期ということもあり案件の発生が緩やかな基調がみられ、さらに大規模企業では、構築するネットワークと同時に導入される案件が増加し、案件として獲得するまでのリードタイムが長くなる傾向にあり、当初、当第1四半期内で獲得を見込んだものが、第2四半期以降に期ずれする傾向が多くみられました。

この結果、企業向け製品の売上高は98,790千円（前年同期比 69.2%）と計画を下回る結果となりました。

b) 公共向け製品

公共向け製品でも、企業向け製品と同様に、見込み案件数は増加しているものの、当第1四半期中の入札開催件数はやや少なく第2四半期内へ持ち越されるものが多くあり、売上高の増加には至りませんでした。

あわせて公共市場では1年を通じても、特に売上構成比が低い時期であること、また当初獲得を見込んでいた案件が、地方自治体合併の最終的な影響を受けるなどし、第2四半期以降の導入へ案件が期ずれする傾向が強くなりました。

このことによって、公共向け製品の売上高は49,901千円（前年同期比 59.3%）と計画を下回る結果となりました。

c) 家庭向け製品

家庭向け製品の市場におけるフィルタリングソフトに対する理解度は急速に高まりつつあり、前年度末に搭載モデルを拡大した家庭向けパソコンへのバンドルによる利用者の拡大のほか、店頭におけるパッケージ製品の売れ行きが好調に推移しております。同時にインターネットサービスプロバイダーからのサービス加入者数も堅調に推移しております。

また、平成18年6月26日に発表した通り、任天堂株式会社との提携を行い、7月24日より発売が開始された「ニンテンドーDSブラウザ」向けフィルタリングサービス「i-フィルター for ニンテンドーDSブラウザ」の開発に取り組みました。

これらの結果、家庭向け製品の売上高は40,381千円（前年同期比 158.1%）と大幅に計画を上回る結果となりました。

(3) 財政状態の変動状況

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|-------|--------|----------|----|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 19年3月期第1四半期 | 1,614 | 1,354 | 83.9 | 9,903 | 77 |
| 18年3月期第1四半期 | 1,478 | 1,106 | 74.9 | 24,778 | 35 |
| (参考) 18年3月期 | 1,898 | 1,410 | 74.3 | 10,328 | 31 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【キャッシュ・フローの状況】

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 19年3月期第1四半期 | △52 | △64 | △17 | 503 |
| 18年3月期第1四半期 | 12 | △47 | 51 | 452 |
| (参考) 18年3月期 | 423 | △305 | 84 | 638 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期における現金及び現金同等物は、前期末に比べ135,136千円減少し、当第1四半期末には503,014千円となりました。

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは税引前当期純損失等により52,944千円の支出となり、投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得等により64,705千円の支出となっております。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により、17,486千円の支出となっております。

【参考】 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----|-------|------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 中間期 | 864 | 239 | 136 |
| 通期 | 1,810 | 602 | 343 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 2,511円 28銭

フィルタリング製品・サービスへの市場からの関心は第2四半期以降も継続し、すべての製品市場においてユーザーは確実に増加していくものと予想され、当社グループの連結業績予想は平成18年5月8日に発表した「平成18年3月期 決算短信(連結)」のとおり、上記表中の予想に変更はありません。

なお、セキュリティ事業における各製品の今後の展開は下記のとおりです。

企業向け製品

当社の取引先である代理店においても第2四半期は取扱量の増加する時期であることを背景に、当第1四半期からの延伸案件の確実な獲得と共に、新規ユーザーの獲得に向けた当社営業担当者によるダイレクトマーケティング(導入コンサルティングや製品紹介など)を精力的に継続し、売上の拡大に努めてまいります。

公共向け製品

公共向け製品にとって第2四半期は年間を通じて最大の繁忙期にあたるため、延伸案件の刈り取りを確実にを行うと同時に、新しいオプション機能を追加したセキュリティ重視型総合サーバ「コミュニケーションサーバシステム」ならびに「i-FILTERアカデミック」を主軸に今夏商談の確実な獲得に努めてまいります。

家庭向け製品

「ニンテンドーDSブラウザー」向けフィルタリングサービスへの加入者獲得と共に、当社ならびにフィルタリングソフトへの理解と認知度を向上させ、相乗効果による当社の製品ユーザー獲得に努めてまいります。

あわせて更新ユーザーの確実な獲得に向けた、ユーザビリティの高い更新スキームの実施、さらには新しい市場や販路の拡大を目的としたアライアンスの構築にも注力し、売上の拡大を図ってまいります。

※上記業績予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる結果となる可能性があります。

3 第1四半期連結財務諸表等

(1) 第1四半期連結貸借対照表

| 科目 | 前第1四半期 連結会計期間末 (平成17年6月30日現在) | | 当第1四半期 連結会計期間末 (平成18年6月30日現在) | | 前連結会計年度 の要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日現在) | |
|--------------|-------------------------------------|------------|-------------------------------------|------------|---|------------|
| | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) |
| (資産の部) | | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | | |
| 1. 現金及び預金 | 452,338 | | 603,014 | | 738,151 | |
| 2. 受取手形及び売掛金 | 337,685 | | 369,396 | | 546,642 | |
| 3. たな卸資産 | 4,385 | | 5,455 | | 4,957 | |
| 4. 繰延税金資産 | 37,809 | | 36,419 | | 36,419 | |
| 5. その他 | 27,880 | | 27,285 | | 17,017 | |
| 貸倒引当金 | — | | △237 | | △237 | |
| 流動資産合計 | 860,098 | 58.2 | 1,041,333 | 64.5 | 1,342,950 | 70.7 |
| II 固定資産 | | | | | | |
| 1. 有形固定資産 | 32,125 | | 57,228 | | 53,175 | |
| 2. 無形固定資産 | | | | | | |
| (1) ソフトウェア | 160,597 | | 245,071 | | 182,009 | |
| (2) 連結調整勘定 | 244,636 | | 193,134 | | 206,010 | |
| (3) その他 | 63,521 | | 5,939 | | 42,251 | |
| 無形固定資産合計 | 468,755 | | 444,145 | | 430,270 | |
| 3. 投資その他の資産 | | | | | | |
| (1) 繰延税金資産 | 7,814 | | 3,500 | | 3,500 | |
| (2) 敷金 | 108,684 | | — | | — | |
| (3) その他 | 580 | | 69,394 | | 69,103 | |
| 貸倒引当金 | — | | △644 | | △644 | |
| 投資その他の資産合計 | 117,080 | | 72,250 | | 71,959 | |
| 固定資産合計 | 617,961 | 41.8 | 573,624 | 35.5 | 555,405 | 29.3 |
| 資産合計 | 1,478,059 | 100.0 | 1,614,957 | 100.0 | 1,898,355 | 100.0 |

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 投資その他の資産の内(2)敷金は当第1四半期連結会計期間末及び前連結会計年度においては(3)その他に含めております。

| 科目 | 前第1四半期 連結会計期間末 (平成17年6月30日現在) | | 当第1四半期 連結会計期間末 (平成18年6月30日現在) | | 前連結会計年度 の要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日現在) | |
|----------------------|-------------------------------------|------------|-------------------------------------|------------|---|------------|
| | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) |
| (負債の部) | | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | | |
| 1. 1年以内返済予定 長期借入金 | 87,696 | | 86,448 | | 85,224 | |
| 2. 賞与引当金 | 15,628 | | 16,082 | | 28,996 | |
| 3. その他 | 120,366 | | 98,528 | | 291,633 | |
| 流動負債合計 | 223,690 | 15.1 | 201,058 | 12.4 | 405,853 | 21.4 |
| II 固定負債 | | | | | | |
| 1. 長期借入金 | 147,520 | | 58,984 | | 81,820 | |
| 固定負債合計 | 147,520 | 10.0 | 58,984 | 3.7 | 81,820 | 4.3 |
| 負債合計 | 371,210 | 25.1 | 260,042 | 16.1 | 487,673 | 25.7 |
| (資本の部) | | | | | | |
| I 資本金 | 606,892 | 41.1 | — | — | 660,852 | 34.8 |
| II 資本剰余金 | 593,531 | 40.1 | — | — | 647,490 | 34.1 |
| III 利益剰余金 | △93,575 | △6.3 | — | — | 102,339 | 5.4 |
| 資本合計 | 1,106,848 | 74.9 | — | — | 1,410,681 | 74.3 |
| 負債資本合計 | 1,478,059 | 100.0 | — | — | 1,898,355 | 100.0 |
| (純資産の部) | | | | | | |
| I 株主資本 | | | | | | |
| 1. 資本金 | — | — | 663,341 | 41.1 | — | — |
| 2. 資本剰余金 | — | — | 649,978 | 40.2 | — | — |
| 3. 利益剰余金 | — | — | 41,594 | 2.6 | — | — |
| 株主資本合計 | — | — | 1,354,915 | 83.9 | — | — |
| 純資産合計 | — | — | 1,354,915 | 83.9 | — | — |
| 負債、純資産合計 | — | — | 1,614,957 | 100.0 | — | — |

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 第1四半期連結損益計算書

| 科目 | 前第1四半期 連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日) | | 当第1四半期 連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | | 前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) | |
|---------------------|---|------------|---|------------|--|------------|
| | 金額 (千円) | 百分比 (%) | 金額 (千円) | 百分比 (%) | 金額 (千円) | 百分比 (%) |
| I 売上高 | 255,153 | 100.0 | 189,073 | 100.0 | 1,389,339 | 100.0 |
| II 売上原価 | 62,277 | 24.4 | 70,198 | 37.1 | 319,315 | 23.0 |
| 売上総利益 | 192,876 | 75.6 | 118,875 | 62.9 | 1,070,023 | 77.0 |
| III 販売費及び一般管理費 | 151,845 | 59.5 | 178,250 | 94.3 | 640,032 | 46.0 |
| 営業利益 | 41,030 | 16.1 | △59,375 | △31.4 | 429,991 | 31.0 |
| IV 営業外収益 | 22 | 0.0 | 1,416 | 0.7 | 169 | 0.0 |
| V 営業外費用 | 2,036 | 0.8 | 1,569 | 0.8 | 12,052 | 0.9 |
| 経常利益 | 39,016 | 15.3 | △59,528 | △31.5 | 418,108 | 30.1 |
| VI 特別利益 | — | — | — | — | 184 | 0.0 |
| VII 特別損失 | — | — | — | — | 17,519 | 1.3 |
| 税引前第1四半期(当期) 純利益 | 39,016 | 15.3 | △59,528 | △31.5 | 400,773 | 28.8 |
| 税金費用 | 27,342 | 10.7 | 1,216 | 0.6 | 193,184 | 13.9 |
| 第1四半期(当期)純利益 | 11,673 | 4.6 | △60,744 | △32.1 | 207,588 | 14.9 |

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 第1四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

| | 株主資本 | | | | 純資産合計 |
|-----------------------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 | |
| 平成18年 3月 31日残高 (千円) | 660,852 | 647,490 | 102,339 | 1,410,681 | 1,410,681 |
| 当第1四半期連結会計期間中の 変動額 | | | | | |
| 新株の発行 (千円) | 2,489 | 2,488 | — | 4,977 | 4,977 |
| 当期純損失 (千円) | — | — | 60,744 | 60,744 | 60,744 |
| 当第1四半期連結会計期間中の 変動額合計(千円) | 2,489 | 2,488 | △60,744 | △55,767 | △55,767 |
| 平成18年 6月 30日残高 (千円) | 663,341 | 649,978 | 41,594 | 1,354,915 | 1,354,915 |